

廃発炎筒の梱包手順<水ゲルパックタイプ>



① 専用回収箱の準備

専用回収箱は、外箱と内箱、水ゲルパックで1セットです。

写真上：外箱 写真右：水ゲルパック
写真下：内箱

専用回収箱がお手元に届きましたら、まず外箱・内箱・水ゲルパックが揃っているかご確認ください。

※水ゲルパックを取り出す際、破かない様ご注意ください。



② 専用回収箱の組立て

外箱と内箱を広げ、外箱の中に内箱をセットします。

外箱の底部はガムテープなどでしっかりと留めるようにしてください。



③ 廃発炎筒の収納

廃発炎筒を1マスにつき1本(計100本)収納します。

底栓(着火した時に手で持つ側)が下になるよう向きを揃えて収納してください。

※ケースがなく、火薬部分がむき出しになっている製品を発見した場合は、そのまま収納せず弊社廃発炎筒担当までご連絡ください。



④ 水ゲルパックの設置・梱包

水ゲルパックを廃発炎筒の上に載せます。

次に水ゲルパックを隙間なく広げます。

廃発炎筒・水ゲルパックを収納したら、しっかりとガムテープで封をします。

※輸送中の振動・衝撃などにより封が開くことのないよう、しっかりと封をしてください。



⑤ 引取依頼書の貼り付け

封をしたら、**引取依頼書を収納フィルムや封筒などに入れ、箱の側面(旧: 廃棄管理伝票貼り付け欄)に貼り付けます。**

※引取依頼書は発炎筒引取オーダーシステム「状況照会」より該当する引取依頼を印刷してください。
 ※引取依頼書は1回収につき1枚添付ください。
 1回の回収で複数箱お送り出来ます。
 回収例: 専用回収箱/3箱、引取依頼書/1枚

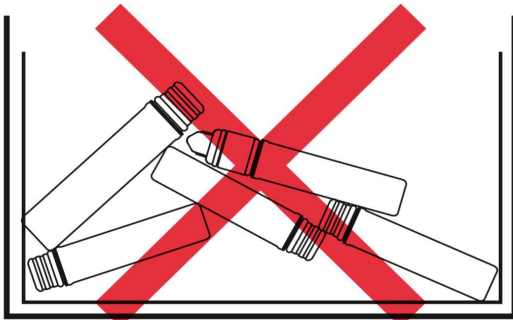


ケースが上向きではない

回収NGの悪い事例(1)

廃発炎筒は全てケースを上向き(持ち手部が下側)に収納します。

万一の発火時に、水ゲルパックの有効性が低下します。



内箱を使っていない

回収NGの悪い事例(2)

廃発炎筒の収納は必ず内箱を使用してください。

輸送時の衝撃や振動が強くなり、また、廃発炎筒同士の接触が起こり、発火の可能性が高まります。



回収対象外が含まれている

回収NGの悪い事例(3)

回収対象の廃発炎筒以外は梱包しないでください。

対象廃発炎筒: 日本カーリット(株)製および
 国際化工(株)製の未使用製品

<回収対象外 例>

破損または燃焼中断した自動車用廃発炎筒
 その他の廃発炎筒(船舶用や高速道路規制用)
 LED信号灯 等